※令和４年度以降入学生用

学校番号	1014

令和８年度　教養科

教科	教養	科目	手話・点字	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書							
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・授業内で「視覚障がい、聴覚障がい」について知るとともに、コミュニケーションの方法として手話と点字について学びます。
・障がいとは何か理解したうえで、どのように日常生活を送っているか学びます。また、点字や手話を通してコミュニケーションの方法を学びます。手話や点字は実践することで身につきます。
・授業内で説明を受け、実践することで評価対象とします。また、授業内で実技試験を行います。積極的に授業に参加していきましょう。
・定期的に課題を出します。授業内課題だけではなく、家庭学習の課題もあります。授業で得た学びを整理し、深めるために丁寧に取り組みましょう。

2　学習の到達目標

(1) 障がいとは何かということを理解し、日常生活の様子や困りごとを知り、どのような場面でどのように対応することが望ましいかを考察し、表現できる力を養う。
(2) 手話では、50 音を表現できるよう基本的な知識を習得したうえで、単語の表現方法を学ぶ。単語の表現がどのような由来であるかを理解し、手話を知らない単語が出てきた場合にはどのように表現すれば相手に伝わるかと考察し、表現する力を養う。
(3) 点字では、基本の 50 音に加え、数字や記号などの基本的な単語の打ち方を習得する。そのうえで単語や文章を打つ際のルールを理解し、文章を点訳するための判断力、技能を身につける。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	障がいに関する基本的な知識を習得する。 50 音を習得し、表現における基本的なルールを理解する。 単語の成り立ちや単語ごとのきまりを踏まえたうえで相手に伝えることができる技能を身につける。	障がいに関する学びをもとに、事例で望ましい対応方法を考察し、表現する力を身につける。 相手に言葉を伝える際にどのように表現すれば的確に伝わるかを判断し、適切な方法を判断することができる。	手話や点字を通して、言語を伝える方法はさまざまであることを認識する。学習した内容に基づき、技能や表現力を伸ばそうとする姿がみられる。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期中間	障がいとは	障がいとは	a:聴覚障がい・視覚障がいとはどのような状態であるかを理解している。 b:事例を通して、どのようなことに困るのか、どのような対応があれば、暮らしやすいかを考え、表現することができる。 c:障がい者との関わり方について自分の意見を述べ、コミュニケーションを図るために必要な力を身につけようとしている。	提出物	提出物	提出物 振り返り
	点字の基本	・視覚障がい ・点字のきまり ・50音の書き方	a:視覚障がいについて理解し、どのように日常生活を送っているか理解している。　点字のきまりを理解し、正しく書くことができる。 b:教員からの課題に合わせて 50 音を用いて単語を書く。マスあけや改行などを考え、書いくことができる。 c:障がい者との関わり方について自分の意見を述べ、コミュニケーションを図るために必要な力を身につけようとしている。	毎時間の課題 小テスト 提出物	毎時間の課題 小テスト 提出物	毎時間の課題 小テスト 提出物
前期期末	点字の応用	・数字 ・わかち書き ・課題文の作成	a:数字を打つときに数符記号がいることやわかち書きのルールを理解し、文章を書くことができる。 b:提示された文章にマークを入れ、自分でわかち書きすることができる。数字などの特殊なきまりを使うタイミングを考え、正しく書くことができる。 c:今まで学習したことを踏まえて、課題文を作成しようとする姿がみられる。	毎時間の課題 課題	毎時間の課題 課題	毎時間の課題 課題

※令和４年度以降入学生用

	手話の応用	・趣味 ・受診 ・日時 ・会話をする	a:各項目で必要な単語を習得するとともに、やりとりの中で出てくる単語や表現を理解する。 b:ペアワークでやり取りする中で相手が伝えようとしている単語が何かを考えることができる。単語がわからないときに指文字を利用するなど工夫することができる。 c: 手話でコミュニケーションをとろうとする前向きな姿勢がみられる。	小テスト 実技テスト	小テスト 実技テスト	実技テスト 振り返り
後期中間	点字とは 点字の基本	・視覚障がい ・点字のきまり ・50音の書き方	a:視覚障がいについて理解し、どのように日常生活を送っているか理解している。 点字のきまりを理解し、正しく書くことができる。 b:教員からの課題に合わせて 50 音を用いて単語を書く。マスあけや改行などを考え、書いくことができる。 c:障がい者との関わり方について自分の意見を述べ、コミュニケーションを図るために必要な力を身につけようとしている。	毎時間の課題 小テスト 提出物	毎時間の課題 小テスト 提出物	毎時間の課題 小テスト 提出物
後期期末	点字の応用	・数字 ・わかち書き ・課題文の作成	a:数字を打つときに数符記号がいることやわかち書きのルールを理解し、文章を書くことができる。 b:提示された文章にマークを入れ、自分でわかち書きすることができる。数字などの特殊なきまりを使うタイミングを考え、正しく書くことができる。 c:今まで学習したことを踏まえて、課題文を作成しようとする姿がみられる。	毎時間の課題 最終課題	毎時間の課題 最終課題	毎時間の課題 最終課題

※ 表中の観点について a:知識・技能 b:思考・判断・表現 c:主体的に学習に取り組む態度

・自己紹介 ・あいさつ ・指文字 ・手話の成り立ち	a:名前に使われている指文字を覚え、自己紹介ができる。あいさつなどの単語を習得する。 b:あいさつの手話や自己紹介を組み合わせ、会話がつながるようにやりとりすることができる。 c:手話を習得しようと前向きに取り組む姿勢がみられる。	提出物 小テスト	提出物 小テスト	取組み状況 振り返り

※令和４年度以降入学生用

聴覚障がい②	・生活での困りごと ・防災 ・運転免許 ・ろうあ運動	a:日常生活での困りごとや緊急時の対応について理解する。ろうあ運動によって聴覚障がい者の生活がどのように変化してきたかを理解する。 b:困りごとへの対処方法を考え、説明することができる。 c:自身ができることを積極的に考える姿がみられる。	提出物 小テスト	提出物 小テスト	提出物 振り返り